

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 3月20日

【評価実施概要】

事業所番号	2771900913		
法人名	社会福祉法人 慶生会		
事業所名	北条グループホーム		
所在地	大阪府大東市北条七丁目4番1号 072-878-8228		
評価機関名	特定非営利活動法人 カロア		
所在地	大阪市天王寺区堀越町1-1四天王寺堀越ビル		
訪問調査日	平成20年3月11日(水)	評価確定日	平成20年4月3日

【情報提供票より】(年 月 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 4 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	25 人	常勤 13人, 非常勤 12人, 常勤換算	17.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	5 階建ての	2~3 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	52,500 円
敷 金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 実費 円
	または1日当たり 1,250 円		

(4) 利用者の概要(12月10日現在)

利用者人数	18 名	男性 2 名	女性 16 名
要介護1	0	要介護2	0
要介護3	8	要介護4	4
要介護5	4	要支援2	2
年齢	平均 85.4 歳	最低 73 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人藤井会大東中央病院、医療法人快生会小山ふれあいクリニック、中川歯科医院
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

近くに商店街があり、利用者と歩いて買い物に出かけられていました。近所の方がトイレを借りに来られるなど気軽に立ち寄られる雰囲気作りもされ、地域に溶け込んだ施設と感じました。職員も積極的に利用者と関わり生き生きとされているのが印象的でした。利用者もゆったりとされ笑顔が多くみられました。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価では、特に改善点は見られないとのことでしたが、それに甘んじる事無く運営の工夫をされていました。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	すべての項目において、取り組みがなされ日々努力しておられる様子が伺えました。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	現在のホームの運営状況を参加者に報告しています。会議の進め方を工夫され、市の職員の方も参加しやすいように日程を考えていきたいとのことでした。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	苦情については、信頼関係が出来ていることから少ない状況でした。家族からの意見は、日誌等に記録され職員が皆見られるようにしており、情報の共有がなされていました。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	利用者と職員が地元の商店街で買い物をしたり、自治会にも入り地域の行事に参加する等、地域の一員として交流がなされていました。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	『和敬・愛悟・感謝』と母体からの理念の引き継ぎと共に、サービスの品質方針を作成し、掲示されていました。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフの控え室の見やすい場所に掲示され、会議等の機会があれば管理者から話をされ、理念の共有・実践に努めていました。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	管理者は積極的に地域の行事に参加している、という姿勢がみられました。自治会にも入っておられ、利用者は地域の行事に参加したり、地元の商店街で買い物するなど地元の人々と交流がなされていました。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価表を職員全員で作成し、改善点についてミーティング等で検討されていました。管理者、職員ともにその意義を理解し、取り組んでいました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>家族の参加が主ですが、管理者は会議のあり方にも工夫していこうという姿勢が見られ、市職員や自治会、民生委員など今後参加を増やし、内容についても検討していこうとされていました。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>認知症サポーター養成について市に働きかけたり、制度について不明な点を相談するなど市との連携を積極的にされていました。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ホーム便りとは別に、3ヶ月に一度、利用者一人一人個別の便りを作成していました。写真と手書きのエピソードがたくさん書かれ、ホームでの様子がよくわかりました。記入が出来る方には自筆で書いていただいたりと工夫され取組まれていました。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>フロア入り口にご意見箱を設置していました。家族が訪問しやすい雰囲気作りに努め、来られたときには、日ごろの様子を職員から報告し、話しやすい関係作りを心がけていました。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ユニットごとに職員の配置をするなど馴染みの関係作りに努めていました。職員の異動や離職についても利用者へ適時説明を行い配慮されていました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間計画をたて、職員の育成のための取り組みをしていました。毎月の事業所内研修に加え、外部研修にも参加できるよう配慮されていました。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は同業者と積極的に交流を図り、職員の相互研修をしていました。認知症サポーター-養成についても話し合うなど積極的な姿勢が見られました。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族に見学に来ていただくだけではなく、ご自宅を訪問し利用者と話をして利用者の理解に努め、ご利用の際には見たことのある職員がいるなど利用者が安心して利用できるような信頼関係作りをされていました。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に行く調理や片付けなども職員に言われてしている様子はなく楽しんでおられる様子でした。職員も利用者と一緒に過ごす時間を大切にしている様子がみられ良い関係が作られていると感じました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者が笑顔で過ごせることを第一に考え、家族から情報を得たり、ご本人から言いやすい雰囲気を作ったりし本人の希望をかなえようとしていました。センター方式を始められ本人の意向の把握に努めておられました。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式を始めるなどし、本人の把握に努め、家族の意向も聞き、その都度話し合いをし、介護計画を立てていました。介護計画にはご家族の代理署名、押印がされていました。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>状況の変化に応じてその都度話し合いを行いご家族の意見も取り入れ計画の見直しをされていました。ご家族の代理署名、押印がされていました。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>医療の体制が充実し、看護師の配置もされていました。体調の変化がある時は24時間いつでも医師が往診してくれる状況でした。また、空きベッドを利用し、ショートステイの受け入れを検討されていました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医による定期的な往診があり、24時間連絡可能な体制になっていました。利用者一人一人違う医師にかかれ、受診結果についても家族に密に連絡をしていました。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>事前に指針の説明を行い理解を得るようにし、医師・家族とも密に連絡をとっていました。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>研修会等でプライバシーに関する職員の意識向上に努めていました。入浴は基本的に個別に行うなど配慮されていました。またその時々への接し方も適切に行われ利用者を大切に思われている様子が伺えました。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>今日は天気が良いから散歩行きますか、と利用者の様子を見ながら声かけしておられました。入浴についても施設の都合の時間ではなく、利用者の希望の時間に入れるよう支援されていました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	朝食、昼食をホームで利用者と一緒に調理しておられました。準備や、後片付けを声かけしなくても進んで一緒にしておられ、職員と話をしながら楽しそうでした。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員の状況で時間帯を決めるのではなく利用者の希望を聞いてその方の入りたい時に個別に入浴できるようされていました。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の出来ることを把握し、得意分野で力が発揮できるよう支援しておられました。利用者自身が進んでしておられる様子がみられました。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くに商店街があり、一緒に外出する機会が多く、買い物・ドライブなど個別に対応しておられました。利用者の要望にこたえられるようフリーの職員を配置していました。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関、ベランダ、エレベータ-等スリーキーで管理していました。自分で降りてこられる利用者もいましたが、事務所ではエレベーター内をモニターでチェックして対応していました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	年に二回消防訓練を実施、災害に備え各ユニットごとに食料の備蓄をしていました。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	食べる量の少ない方についてはチェック表に記入し把握されていました。栄養バランスについては栄養士がメニューを作成し提供していました。個々の状態に応じたメニューもつくられ、部屋で食事されるなど配慮されていました。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	玄関ホールには花が飾られ季節に応じた飾り付けがされていました。食堂のテーブルの配置を考えたり、ソファや絨毯による工夫で、採光もよく落ち着ける共用空間を工夫していました。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	自宅で使われていた家具、テレビ、ミシンなど持ち込み、家族の写真を飾られるなど居心地よく過ごせるよう工夫されていました。手芸をされたりその人らしく過ごせるよう配慮していました。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。